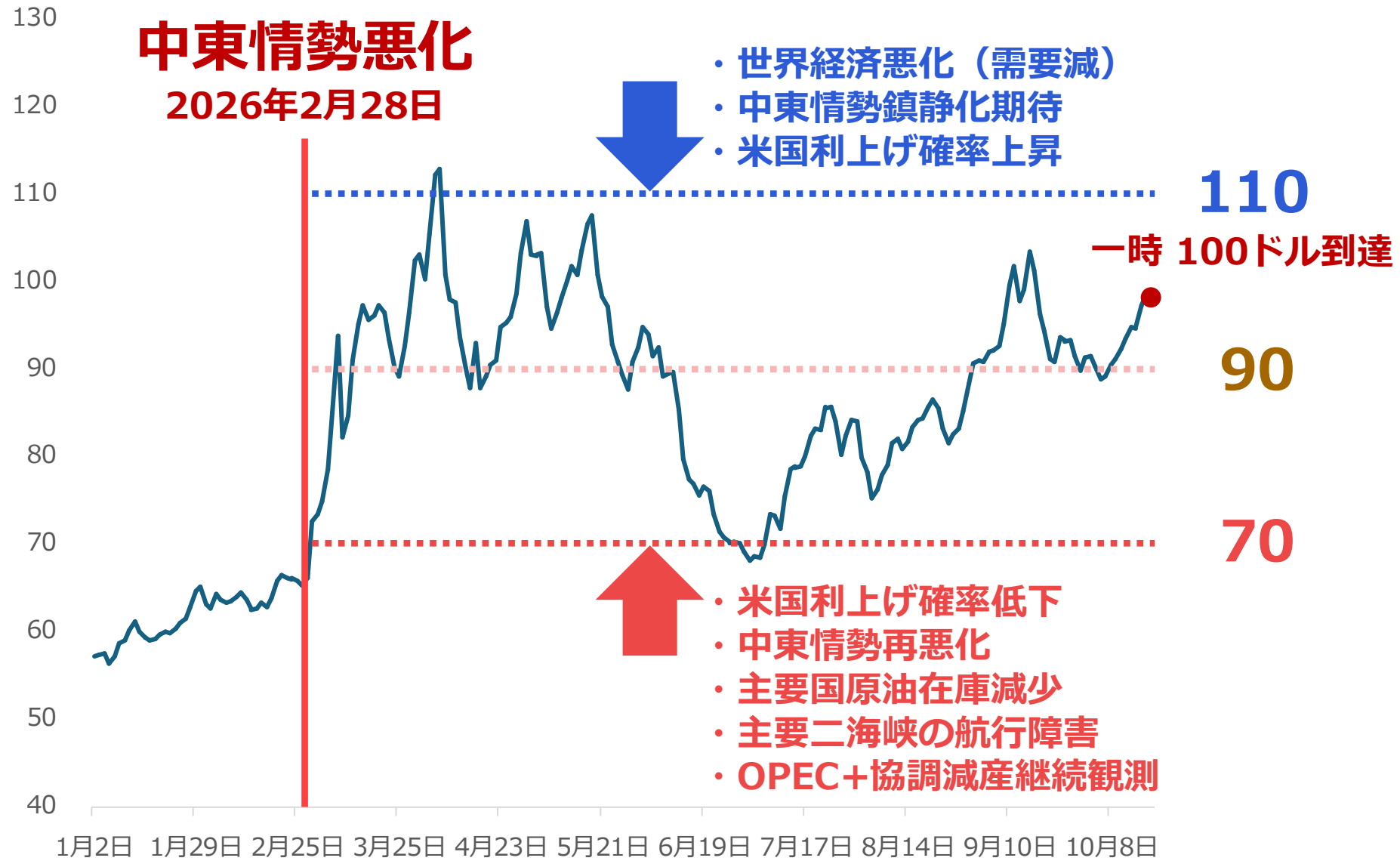
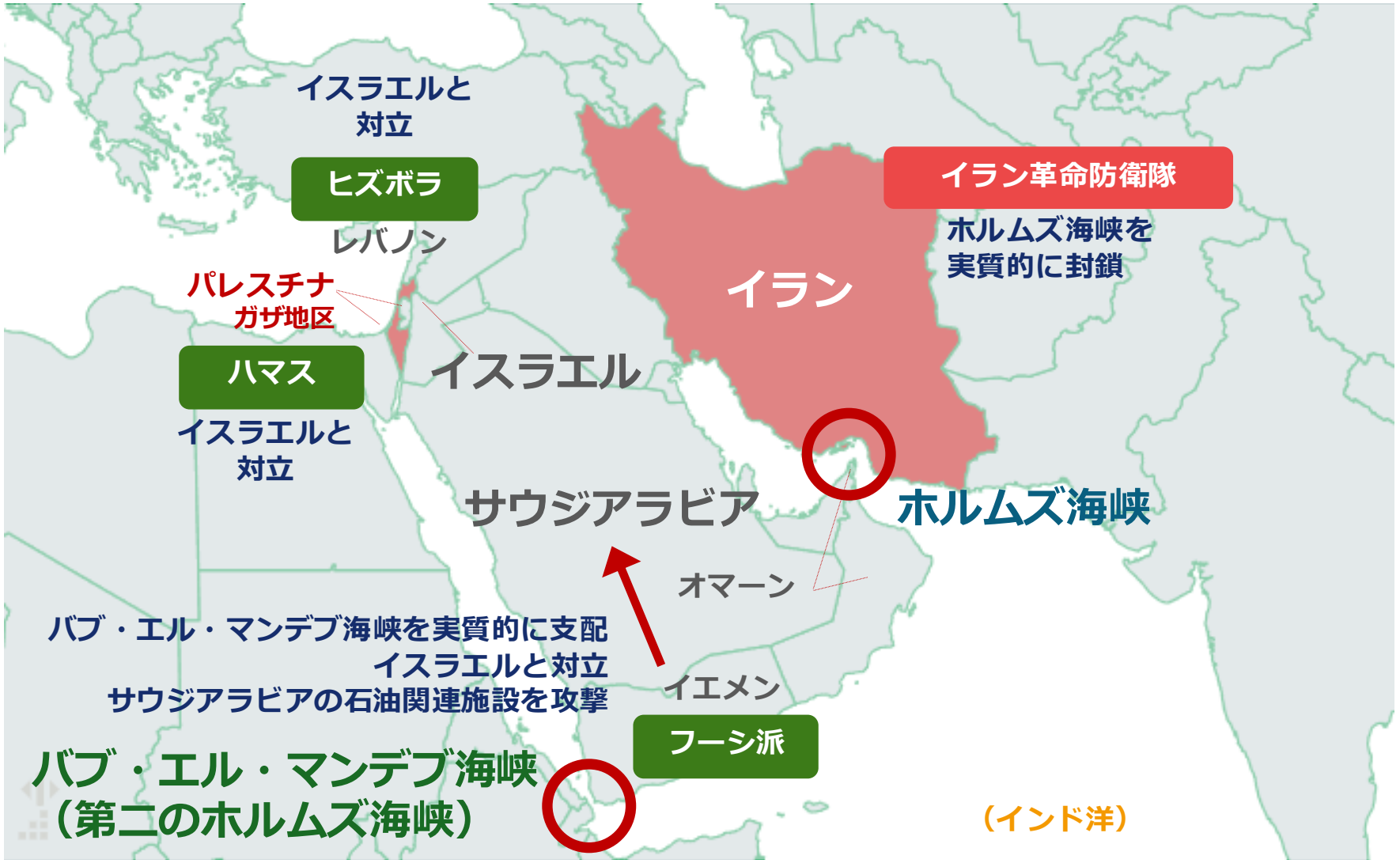
● NY原油先物価格（2026年 中心限月 日次平均 2026年10月20日まで）　単位：ドル/バレル



出所：Investing.comのデータをもとに筆者作成

原油相場は情勢悪化以降「戦時下のレンジ」で推移中。

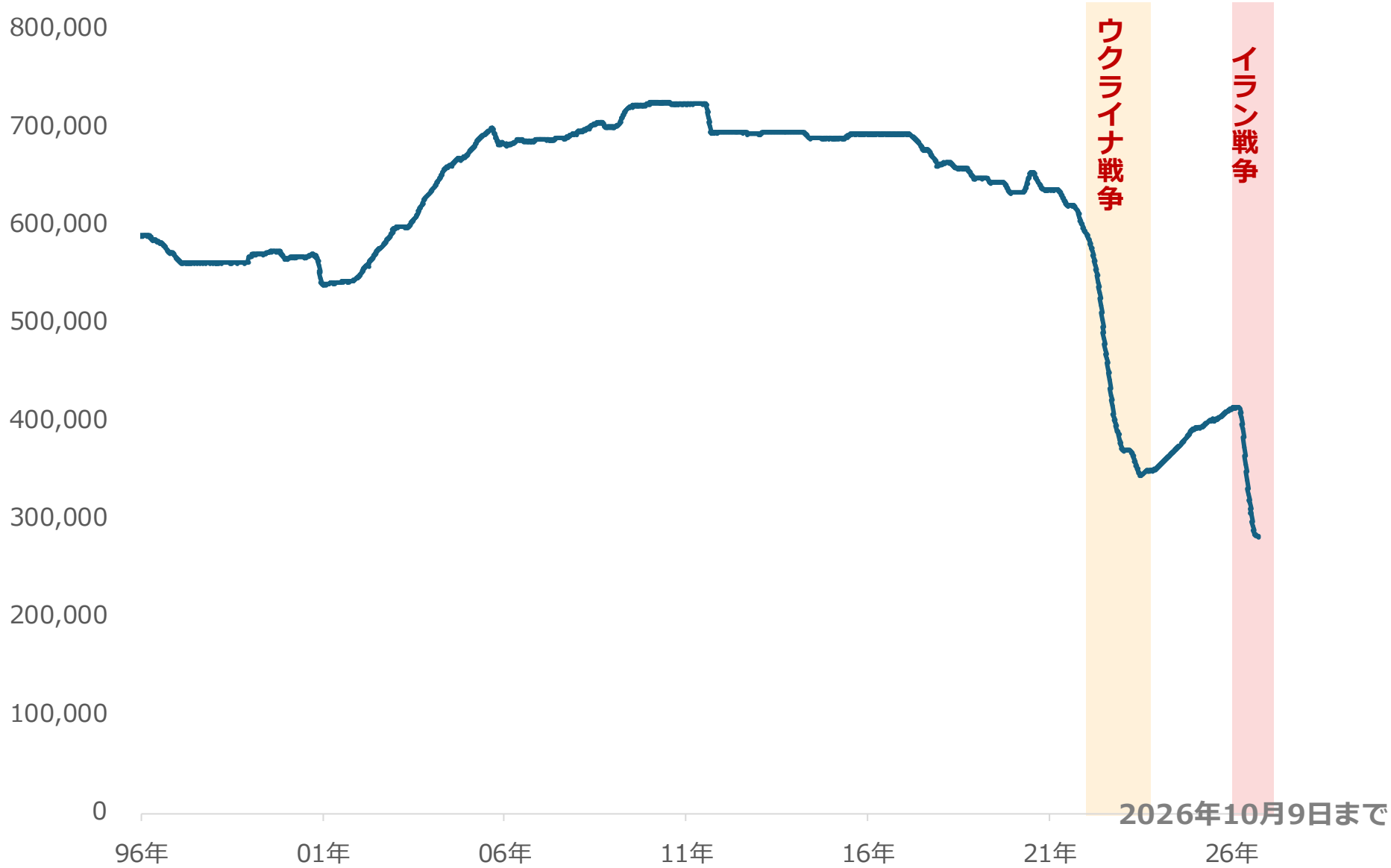
● 二つの重要航路、サウジアラビア、イスラム武装組織 など



出所：各種資料およびmap chartを用いて筆者作成

サウジアラビア産原油。アラビア半島の東西からの輸出が困難に。

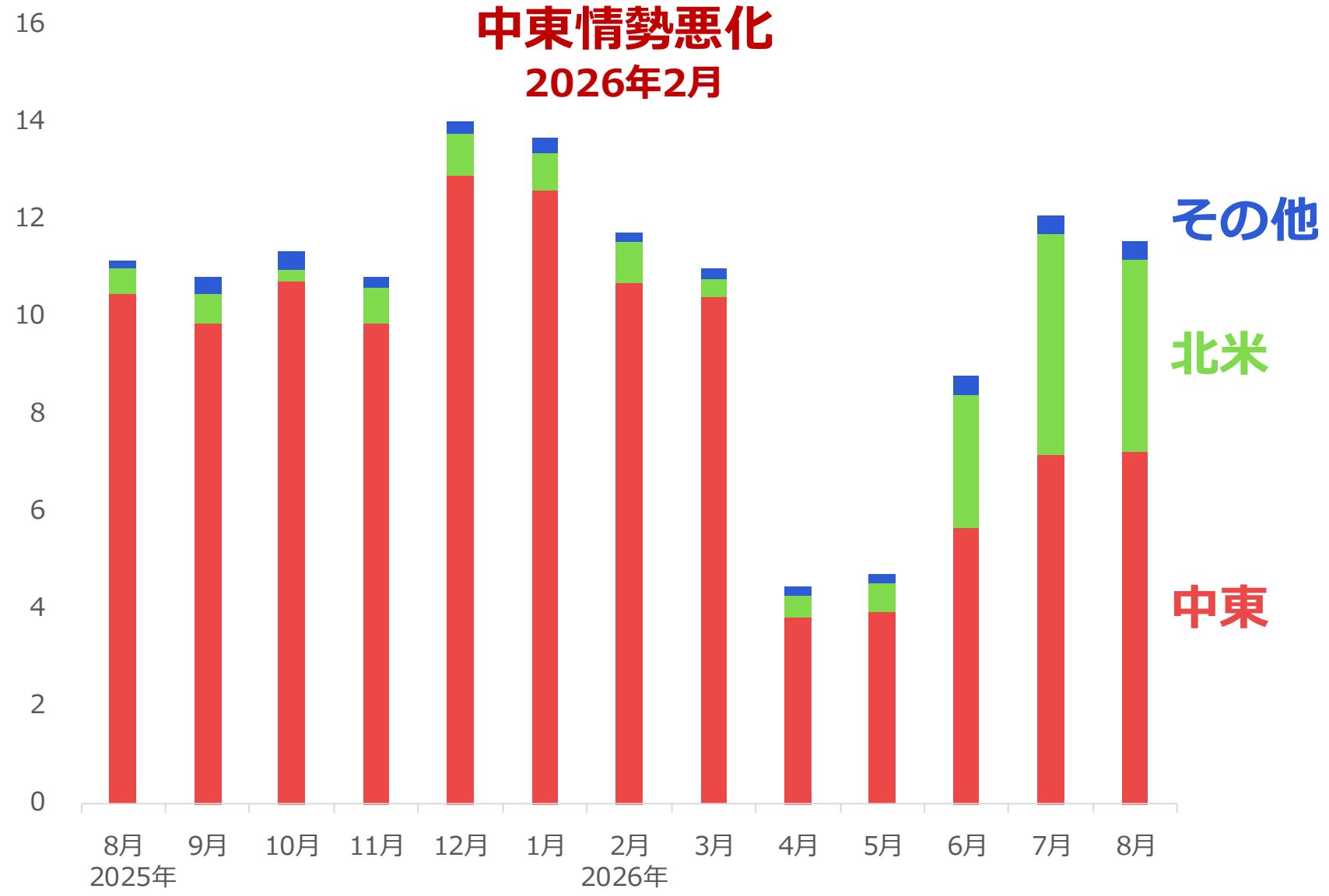
● 米国の原油戦略備蓄（SPR）の推移　単位：千バレル



出所：EIA（米エネルギー情報局）のデータより筆者作成

4月以降、米国では記録的な原油戦略備蓄の取り崩しが続いている。

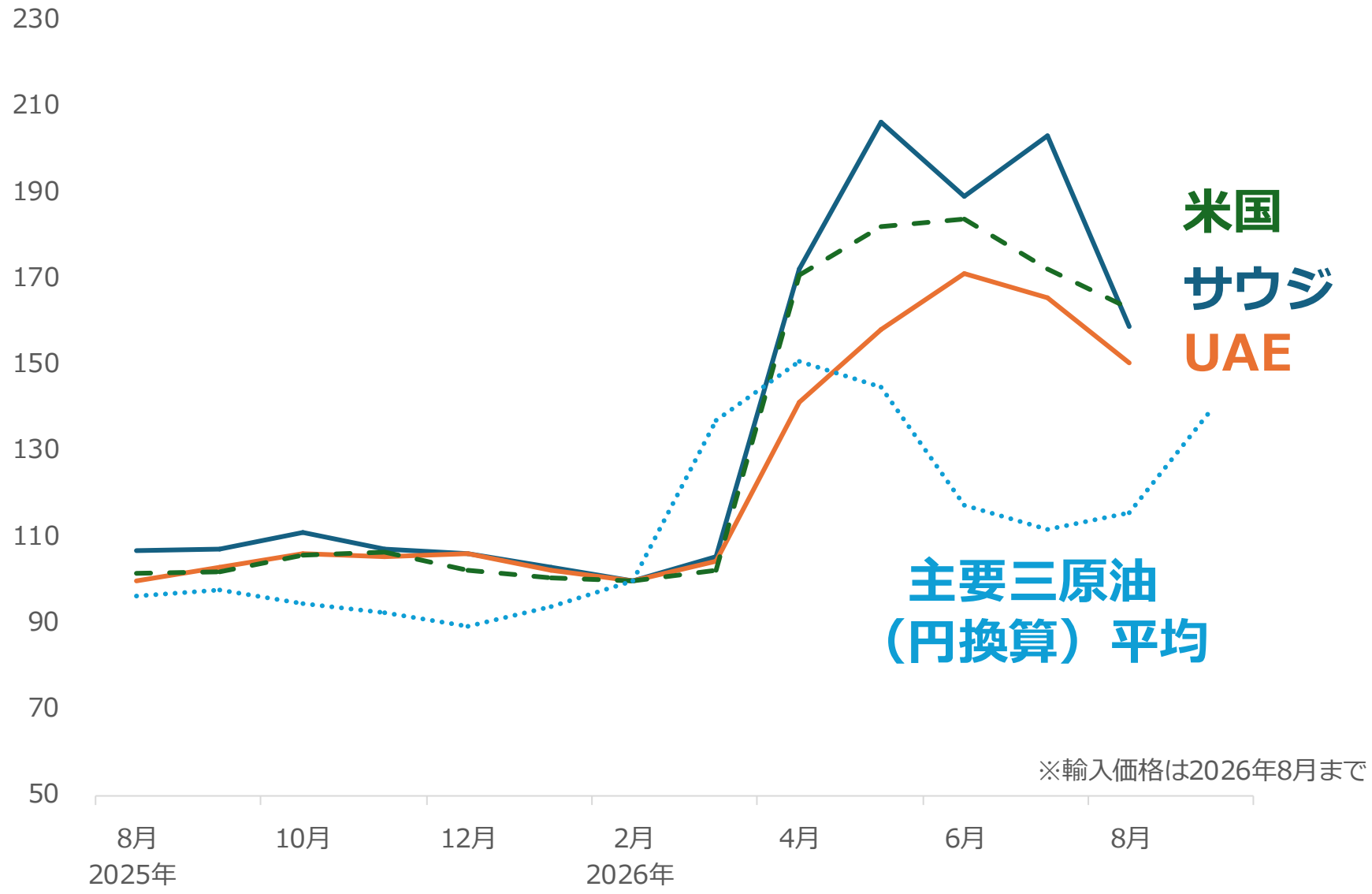
● 日本の原油輸入量（地域別）の推移　単位：百万キロリットル



出所：財務省のデータをもとに筆者作成

日本は原油調達について 中東からの減少分を北米（米国中心）で補っている。

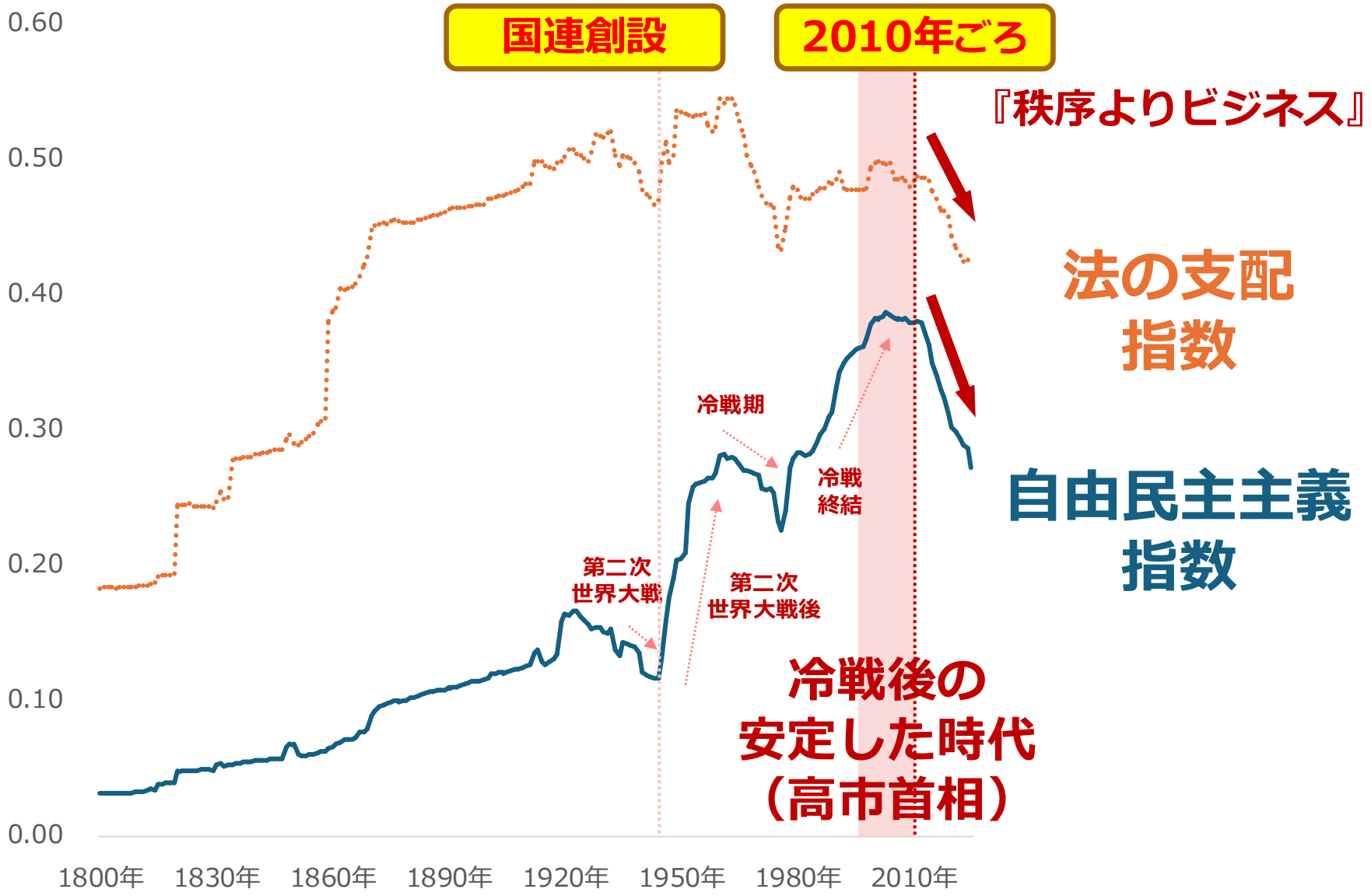
● 日本の原油輸入単価（主要国）と主要三原油（円換算）平均（2026年2月を100として指数化）



出所：財務省および世界銀行などのデータをもとに筆者作成

日本の原油輸入単価は国際相場に比べて割高。輸送コストの上昇が一因か。

● 自由民主主義指数と法の支配指数（世界全体 人口加重平均）



出所：V-Dem研究所（スウェーデン）のデータおよび各種資料をもとに筆者作成

「冷戦後の安定した時代」は既に過去のものとなった。

● 原油相場が「戦時下のレンジ」で続くと考える理由

2010年ごろから

民主主義後退・自国優先・資源出し渋り・秩序よりビジネス

↓

中東情勢の混迷

（殉教者への責任、国家の威信、体制維持、報復感情）

↓

産油国の非西側化・協調減産継続

↓

ホルムズ海峡、バブ・エル・マンデブ海峡、
および中東周辺を航行するタンカー数低迷

↓

米国の原油備蓄減少

↓

「戦時下のレンジ」原油相場（70ドル～110ドル）

出所：筆者作成

「中東情勢の混迷」は、鎮静化が大変に難しい。